

衆議院法務委員会ニュース

平成 26.5.9 第 186 回国会第 15 号

5 月 9 日（金）、第 15 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件（法曹養成制度）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）静岡大学大学院法務研究科教授	宮 下 修 一君
一般社団法人日本経済団体連合会経済基盤本部主幹	和 田 照 子君
弁護士	和 田 吉 弘君
北海道大学大学院法学研究科教授	宮 脇 淳君

（質疑者及び主な質疑内容）

大 口 善 徳君（公明）

- ・法曹有資格者に対する需要について、国や地方自治体においては具体的にどのような需要があるのか、その需要を顕在化させるためにはどのような方策が考えられるのか、宮脇参考人に伺いたい。また、企業法務の現場においてはどのような人材が求められていて、法曹と企業のマッチングのためにはどのような方策が必要なのか、和田照子参考人に伺いたい。
- ・法曹有資格者の海外展開を推進するため、JICAやJETRO、在外公館等を通じて、日本司法支援センター（法テラス）の所属弁護士を途上国等に派遣し、現地で日本企業を支援する仕組みを構築していくべきであると考えているが、和田照子参考人の見解を伺いたい。
- ・法科大学院の適正配置の観点から、宮下参考人が準備を進めている広域連合法科大学院構想は有力な方策であると考えているが、実績のある法科大学院の協力を得られる見通しは立っているのか、宮下参考人に伺いたい。また、同構想について、地方大学の立場から、宮脇参考人の所感を伺いたい。
- ・司法試験予備試験の現状は、本来の趣旨から大きく乖離しつつあると考えるが、宮下参考人と和田照子参考人の見解を伺いたい。また、今後の法曹人口の在り方について、和田吉弘参考人と宮脇参考人の見解を伺いたい。

神 山 佐 市君（自民）

- ・現状では、法曹に対する需要は必ずしも増大・顕在化していないように思われるが、今後、法曹需要は増加するのか、増加するとすればその理由について、宮下参考人、和田照子参考人、和田吉弘参考人及び宮脇参考人それぞれの見解を伺いたい。
- ・司法試験の年間合格者数について、3,000 人に代わる

新たな数値目標を立てるべきとの意見に対する宮下参考人、和田照子参考人、和田吉弘参考人及び宮脇参考人それぞれの見解を伺いたい。

- ・企業の法務ニーズと法曹有資格者の能力のミスマッチの有無及びミスマッチをなくすための方策について、和田照子参考人の見解を伺いたい。

階 猛君（民主）

- ・法科大学院の志願者数や定員充足率が激減している要因については、法科大学院の授業料等の費用負担、合格しにくい、合格してもやりがいのある職業に就けないなどの理由があり、以前よりも参入障壁が高くなっているとも思っているが、宮下参考人、和田照子参考人、和田吉弘参考人及び宮脇参考人それぞれの見解を伺いたい。
- ・合格者数を約 1,000 人程度かそれ以下に早期に減少すべきとの見解について、減らすタイミング（時期）及び仮に 1,000 人にした場合、志願者の量的・質的な向上に資することになるのか、和田吉弘参考人の見解を伺いたい。
- ・仮に合格者数を 1,000 人とした場合でも教育プロセスが重要であるから法科大学院は必要であるという考え方に立った場合、司法研修所に法科大学院の機能を持たせて 1,500 人程度を入所させて、そのうち 7 割を合格させるという考え方について、和田吉弘参考人の見解を伺いたい。
- ・もともと予備試験合格者と法科大学院修了者とは同じ学力にするということが前提だったはずだが、実際は予備試験受験者の方が合格率が高いため、予備試験合格者の方が質が高いという見解があるが、この原因について、宮下参考人、和田照子参考人、和田吉弘参考人及び宮脇参考人それぞれの見解を伺いたい。

高橋みほ君（維新）

- ・司法試験短答式試験の試験科目を憲法、民法及び刑法の3科目に減らすことについて、旧司法試験から新司法試験に変わった際、科目数を増やしたという経緯を踏まえて、宮下参考人の見解を伺いたい。
- ・司法試験の合格者数をあらかじめ定める必要性はなく、一定の能力さえ認められれば法曹資格を与えて、その後はマーケットに任せるとする考えもあるが、合格者数をあらかじめ定めることの可否について、宮脇参考人の見解を伺いたい。
- ・法科大学院に通う期間は、法学未修者は3年間、法学既修者は2年間となっていることについて、1年では法学未修者が法学既修者に追いつくことは難しく、根本的に問題があるというイメージを抱いているが、和田照子参考人の見解を伺いたい。

権名 毅君（結い）

- ・司法試験予備校と現在の法科大学院における受験指導の問題点について、和田吉弘参考人の見解を伺いたい。
- ・大学法学部の卒業生が、企業法務等で活躍することも多いと考えるが、法科大学院と大学法学部における教育の関係について、宮下参考人及び宮脇参考人の見解を伺いたい。
- ・法曹資格を有しない優秀な者が多数企業法務に携わっている現状を踏まえると、企業における法曹有資格者の職域拡大は難しいと考えるが、今後の企業における法曹有資格者の需要増加の有無について、和田照子参考人及び宮脇参考人の見解を伺いたい。
- ・弁護士隣接法律専門職の資格者に対する需要があることを考えると、企業における法曹有資格者の需要はそこまで大きくないと考えるが、和田照子参考人及び宮脇参考人の見解を伺いたい。

2 司法試験法の一部を改正する法律案（内閣提出第46号）

- ・谷垣法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。